

日蓮聖人門連だより

発行
日蓮聖人門下連合会
〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話(03)3751-7181

平成24年9月22日
第46号

仏教伝来謝恩碑参拝 国柱会訪韓団

宗教学法人国柱会
門連編集委員 **森山真治**

◆仏教伝来謝恩碑建立四十年 記念慶讃法要

宗教学法人国柱会は、五月二十九日から六月一日までの四日間、田中壮谷・国柱会賽主以下五十名からなる訪韓団を結成しました。五月三十日には今回の韓国訪問の主目的である、古代朝鮮半島に栄えた百済国の旧都扶余



仏教伝来謝恩碑建立40年記念慶讃法要
集合写真

(現大韓民国忠清南道扶餘郡扶餘邑)に建立された「仏教伝来謝恩碑」の前で、建立四十年を記念する慶讃法要を執り行いました。法要当日は雷雨にもかかわらず、扶餘郡庁から李竜雨・扶餘郡守、秋貞鏞・文化観光課長他、扶餘郡庁職員と李泓坡・大韓佛教観音宗総務院長が、来賓としてご参列されました。団長挨拶、来賓祝詞の後、差定(献香・三礼・散華・自我偈・唱題・奏白・三礼)の通り法要は滞りなく行われ、当時建碑事業に尽力された大橋邦正・国柱会講師(元国柱会理事、当時は総務局長)の「仏教伝来謝恩碑」建立の経緯について臨場講話と記念撮影をもって無事終了しました。

陸の文化・民生の百般に至るまでを学ぶことよって、成長発展してきた歴史的事実があります。特に日本文化の精華である仏教は、『日本書紀』によれば欽明天皇の十三(西暦五五二年)に、百済国王二十六代の聖明王(韓国では聖王と称す)から仏像経巻等がわが朝廷に贈られたと記されています。仏教を我が国に伝えてくれた聖明王の恩誼を千載に忘れることのないよう、百済の古都扶餘に謝恩碑を建て、謝恩の至誠を表示することを、明治三十六(一九〇三)年に国柱会の創始者田中智学先生によって初めて日本仏教界に提唱されました。しかし、日韓併合・世界大戦など激動の時が続いたため一時中断、建碑事業は、日韓国交回復後の昭和四十一(一九六六)年、全日本仏教会による訪韓仏教親善使節団の現地歓迎式典において、副団長として渡韓した田中香浦・国柱会会長(田中智学先生令孫)が謝恩碑建立案を披露し、韓国仏教界・学界の賛意を得た事よって、ようやく再開することとなりました。



佛教伝来謝恩碑除幕式典記念撮影(昭和47年5月10日)



仏教伝来謝恩碑(主碑)

◆全日本仏教徒総意のもとに

昭和四十五(一九七〇)年三月、「仏教伝来謝恩事業会」が正式に発足しました。全日本仏教界の各代表を網羅して、百七十四名の発起人と事業会役員から構成され、事業会会長に曹洞宗管長佐藤泰舜師を推戴、実行委員長に発起人の田中香浦先生、副会長に真言宗豊山派管長平林有高師と日韓親和会会長鈴木一氏が就任し、実行委員十五名のほか協賛団体も全日本仏教会以下十団体が参加して運動を展開していく事となりました。韓国側においても、昭和四十六(一九七二)年に「仏教伝来謝恩事業協賛会」(会長・金元泰氏、副会長・金興培氏、金璿圭氏、事務局長・金光泰氏)が発足し



仏教伝来謝恩碑(副碑)

両者の誠心の協力により、昭和四十七(一九七二)年五月十日、「仏教伝来謝恩碑」の除幕式が盛大にとり行われました。式典には、日韓両国の仏教代表、李方子元妃殿下はじめ韓国学術院院長李丙燾博士、金鍾翊国会議員、鄭燦環扶餘郡守、日本大使館から大使代理、地元扶餘の名士ほか邑民一千余の大衆が参列されました。

◆仏教伝来謝恩事業会発起人の一部

- 【日蓮宗】 管長 藤井日静
宗務総長 片山日幹
総務部長 渡部公允
- 【法華宗本門流】 宗務総長 福島泰信
- 【顕本法華宗】 管長 吉永日洋
宗務総長 朝倉俊夫
- 【法華宗陣門流】 管長 中沢日襄
宗務総長 水本大岳
- 【本門仏立宗】 管長 小山日幹
講有 木村日玄
- 【日本仏教】 宗務総長 田中日広
- 【日蓮正宗】 管長 原日認
宗務総長 今村開要
- 【法華宗真門流】 管長 木下日等
宗務総長 上島日敬
- 【国柱会】 霊廟賽主 田中芳谷
主幹 田中香浦
総務局長 大橋邦正

象徴たらしめたいと念願するものである。
西暦一九七二年五月一日、日本仏教伝来謝恩事業会、日本仏教伝来謝恩事業会、宗教学法人国柱会は、扶餘郡の要請もあり、訪韓団を今後も実施していく予定ですが、謝恩碑建立の趣意に鑑み、国柱会単独での開催ではなくかつてのように日蓮聖人門下教団はじめ、日韓仏教徒交流の場となるよう力を尽くしていく所存です。

つじゆじゆ地地

◆七月二十四日午前八時、全国に衝撃のニュースが駆け抜けた。シアトル・マリナーズの顔とも言えるイチローが名門ニューヨーク・ヤンキースに電撃トレードの一報。このニュースには誰もが驚いたと思うが、さらに驚いたのが記者会見から三時間後に、ヤンキースのユニホームを着て、それも三時間前まで在籍していたマリナーズとの試合に出場したこと。米国ベースボール界ではあり得るらしい。

◆三回表イチローのヤンキースでの初打席。球場はマリナーズの本拠地。どのような雰囲気になるのか? 球場に「イチロー・スズキ」とコールされると、観客はスタンディングオベーション。拍手が止まない。するとイチローはヘルメットをとり、深々と二度頭をさげ、多くのファンの声援に応えると共に「感謝」を伝えた。

◆かたや回りの声に耳を傾けない人もいる。東日本大震災直後に起こった福島第一原発の事故を契機に、日本国内で「原発発・脱原発デモ・集会」が相次いでいるが、先日首相官邸周辺で「原発反対デモ」が行われ、大勢の日本人がシユプレレコールを発した。この声に日本の首相は「大きな音だね」と言ったそう。我が国の未来のことなのに。国民の声にそんな対応でいいのか。

◆日蓮聖人は「教主釈尊の出世の本懐は人の振舞にて候けるぞ」とおっしゃった。人間として自らの身の振る舞いは大切だと説いている。
◆ファンに愛され、移籍する一選手の姿勢と、人ごとのような言動をする一首相。両者ともチームや国を代表する人なのに両極端の振る舞いである。国を率いる国務大臣の首長たる者、もう少し国民の声に耳を傾けてはくれないものか。(明)

《各派のページ》第三回「顕本法華宗宗門内外で活躍する僧侶」



東頭山妙覚寺住職

河野時巧さん

(プロフィール)

昭和二十二年生まれ。埼玉大学理工学部応用化学科卒。私立玉川学園中学校に就職。昭和五十一年に千葉県立高校化学教員に採用。平成六年に退職。顕本法華宗本山で一年半修行、妙覚寺に入る。現在、保護司、民生児童委員、老人ホーム理事、九十九里ライオンズクラブ会長。



恵日山長照寺住職

吉本栄昶さん

(プロフィール)

昭和五十四年生まれ。立正大学宗教学科卒。現在、妙覚寺林准教授、専任布教師、寺小屋長照寺塾長、WCRP会員。寺小屋を立ち上げ不登校、いじめの問題に取り組む。また落語家有難亭南夢明としての顔ももつ。また震災だけでなく、地元ではおめこ住職として呼ばれ、多くの地域行事の復興に努める他、宗教被害の対策にも通じる。

◆私ごと

県立高校の化学の教師をしていました。生徒との拘わりが好きで、問題と云われる生徒の指導に長く携わってました。

平成六年突然教師を辞め、得度をし、本山で若い僧と共に寝起きをし、顕本法華宗の僧になったのが、四十七歳の時です。

その時の心情は「寺で生まれ、仏飯を頂き、今の自分がある、残りの人生を仏様に奉公していきたい」ということです。

五年後、師匠の後を継ぎ、九十九里浜の海辺の寺の住職を拝命しました。三十年ぶりの生まれ故郷での生活に戸惑いながら、お檀家さんとの交流、布教活動に全霊を注いでいます。

◆「寺の解放」その1

大正年間から本堂と庫裡が一緒の建物一つであった境内に檀信徒の悲願

「行動力をもて、質をあげる」

僧侶としてまだまだな私が何を語ればいいのか？ 悩む……。

十数年前から僧侶の質の低下、僧侶の行動力の弱さがいわれているが、何も変わっていない。むしろ悪化しているように感じる。

ある全国の宗教者が集まる会議に参加した時のことだ。何人もの僧侶が頭を揃えた結果、行動が伴わない文章でまとめられてしまう。その紙を見て大きな期待に胸震わせている。当然、成果などついてくるわけもなく、「深刻な問題」として片付けられる。さらに、「遅ればせながらやっております」なんてことが通用する。頭で考え口に出すなら学生でもできる。どこかの委員会や団体のようである。社会的に未熟な者、行動力のない事に誰がについていくのだろうか。

震災が起きた。いじめが起きた。すると心理学者や教育学者ばかりがクローズアップされて、僧侶の存在は皆無だ。もはや、意見を聞くという対象ではなくなくなっているのだ。

我々僧侶は社会を先導していく立場ではないのか？ その人間が行き詰

であった新本堂が昭和五十六年に落成その後庫裡など寺観が前住職と檀信徒の努力によって徐々に整って参りました。

その時期に、私が住職を拝命したのです。浄財を集めて結晶させたこの大きな財産を生かすには、布教活動はもちろんです。新しい試みを思索しました。

境内地の一角にあった坊室にカナダ人の大学教授が下宿していました。この教授がカナダに帰国することになって、その記念に本堂でコンサートをした。その話が持ち上がり、本堂を開放し、日加親善コンサートを開催、質のいい音楽を提供できれば、ご本尊様と至福の一時を共有できることを確信しました。

また、お檀家さんをはじめ、地域の人々にもこのコンサートが大いに期待され始めました。

布教の新たな方法として、先覚的な試みと自負しています。今や寺コンサート

とどうする。

ある脳学者がいつかいたが、「モノの生滅には一定の流れがある。今の仏教や日本は滅の流れである」という。またある学者は、「こういう時こそ、日本の伝統や風習を子供に教える必要がある」という。

教育現場ではダンスが必須となった。そしてダンスができない教育者の教育に時間を費やす。これこそが頭だけの発想である。そういうことより、今やらなければならぬということに目を向けて体験し、これからの繋ぐことのできるものを現場で教える必要がある。

しかし、問題は行動力があっても質が伴っていないということだ。

私はいつも不思議に思うことがある。僧侶になると常識がなくなり、社会から優位に立っていると思うのか、言葉も文章も難しくしたり、チンピラの雰囲気や偉そうな態度をとる者がいる。賢いとはいえない。我が顕本法華宗の大先輩から「こういう人は実際には何も本質を知らない」と言われたが、まさしくその通りだ。いいのか、それで

千葉県で初高座をした際「寿限無」という演目を披露させていただいた。これは僧侶が大きく関係している話で、

トは各地で執り行われています。その後お釈迦様の誕生日を祝う花祭コンサートとして今年で十六回を数えます。

二百名参加者が増え、七間五間の本堂に二百名が入ります。

回を重ねると地域の方々も自主的に、野点や地域で栽培した花々の販売など境内を利用した小さなイベントを企画実行して下さいます。

さらにこのコンサートは新しいコンサートを作り上げつつあります。

それは、年四回を目標に妙覚寺ジャズコンサートが立ち上がり、もう十回程実行されています。友引前の土曜日夜、たくさんの熟年の男性が憩いのライブに耳を傾けています。

さらに、自分たちも歌おうと、月二回の歌う会「やまぼうし」を発足し、境内にきれいな歌声が響いています。

お寺の近くに偶々、各地から陶芸家集まり、それぞれが窯を築き、作家活動を始めました。このマンパワーを借りて新しい企画を考えました。それ

次のような手厳しい会話がなされる。

妻「名前、いつそのことお寺のお坊さんにつけてもらったらどう？」

夫「よそよよ、寺つていのはね、人がくたばつちまうと葬式あげてなんか喜んで」

その時、会場から「その通り」というまさかの合の手がはいった。落語には、洒落や滑稽、時にはいみやみをもって笑いをとるが、御蔭であろうか師匠だけでなく会場も笑いに包まれ幕を下ろした。これが現実の一般が抱いている大多数の仏教イメージである。

しかし、カルト宗教の信者はこういうイメージを自己の信仰にはもたない。仏教はどうした、行動力の無さが自立つが為の結果であろう。

一人一人が本腰を入れて、カルト宗教を地域の中に入れない、地元の子供問題だけでも取り組むなど、僧侶としての知識や繋がりを持って行動してほしい。目先の事ではなく、未来までも続く記憶に残ることをやらなければならない。滑稽な僧侶ばかりの洒落にならない状態が幕が閉じるのではないか。

日蓮聖人門下には多く奮起して頑張っている僧侶がいる。決してその火を消すことのないように皆で行動をとらなければならない。

が九十九里陶芸村構想です。

住職も陶芸に嵌り、境内に、陶芸小屋をつくり、薪の焚く穴窯を近くの陶芸家の指導で作る上げ、地域の愛好家に開放、また、九十九里陶芸村を開村し、陶芸家と地域の橋渡しをしていきます。九十九里陶芸村をめざした観光客を集めています。

だという批判も聞こえます。生きた寺とはいつも人々が集い、心の救済のきっかけになるのではとの思い一筋です。さて、昨今、寺のあり方が喧しく話題になっていますが、寺離れなどという、フレーズで語られ、寺の存在は問われています。

◆寺の在り方

しかしご本尊様はいつもそこにいらつしやるのです。

そのご本尊様の存在に「気付かせよう」と私たちは一生懸命に布教に邁進

しています。

しかし、「気付かせよう」でなく、寺に足を運ぶことで自然に「気づく」のではなく、解放された場に、信仰の空間でなく、開放された場に、信仰のきつかけのハードルを低く、低くしていくのも住職の務めではないでしょうか？ 我が寺での写経、お経誦誦の人数が増えたのも、自然に信仰に目を向けた人々であると思いたいです。

トップツアーは

皆さまの人生をより豊かにする

時間と体験を創造する。パートナーでありたい、

と考えています。

トップツアーでは半世紀を超える経験と実績を活かし、様々な法要や催事へのご参拝の企画、準備、実施を専門にお手伝いさせていただく団参旅行センターを平成二十年に設け、皆さまのご要望にお応えできるよう日々精励しております。実りある団参旅行となりますよう、真心を込めて……



出逢い、発見、そして感動。
トップツアー株式会社
観光庁長官登録旅行業第38号 © JATA正会員・ボンド保証会員
〒153-8550 目黒区東山3丁目8番1号
TOPTOUR <http://www.toptour.co.jp>

東日本大震災からの
一日も早い復興を
心から祈念申しあげます

(平成二十四年九月現在)

日蓮宗宗務院

宗務総長	渡邊照敏	財務部長	川口智康
伝道局長	齊藤憲一	宗務総長室長	渡邊義生
総務局長	塩崎望巳	現代宗教研究所長	三原正資
伝道部長	中井本秀	参 与	渡邊一之
教務部長	川口久雄	参 与	吉田海心
総務部長	池田弁岳	日蓮宗新聞社社長	村上俊正

〒146-8544 東京都大田区池上一-1321-15
電話 〇三(三七五二)七一一五
FAX 〇三(三七五二)七一一八

法華宗(本門流)宗務院

管 長	小西日遼
宗務総長	二瓶海照
庶務部長	佐藤義賢
財務部長	久永晃顕
布教部長	斎藤舜貽
教学部長	金井孝顕
	松本義仙

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二-19-1
電話 〇三(五六一四)三〇五五(代)
FAX 〇三(五六一四)三〇五六

顕本法華宗宗務院

管 長	中村日玄
宗務総長	朝倉俊幸
宗務次長	藤崎行学
教務部長	早川義正
庶務部長	阿曾久成
布教部長	桑村信慶
財務部長	河野時巧
社会部長	飯澤道安

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九-1
電話 〇七五(七九二)七二七一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長	石丸日然
宗務総長	佐古弘文
総務部長	牧野秀成
教学部長	布施義高
教化部長	今井満良
財務部長	金原孝宜
企画部長	山岸観深

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-135-16
電話 〇三(三九一八)七二九〇
FAX 〇三(三五七六)〇二二一

本門佛立宗宗務本庁

講 有	山内日開
講 尊	梶本日裔
講 尊	小山日誠

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上東盛町二-〇番地
電話 〇七五(四六一)一一六六(代)
FAX 〇七五(四六四)五五九九

日蓮本宗宗務院

管 長	嘉儀日有
宗務総長	岩崎広義
総務部長	岩崎広義
財務部長	原田智光
教務部長	原光

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上七法皇町四四八
電話 〇七五(七七二)三三九〇
FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

管 長	田仲日紘
宗務総長	寺田完英
総務部長	堀田智泰
教学部長	堀内浩善
教化部長	木村完祥
財務部長	安立修学
社会部長	上田泰源

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上丸紋屋町三〇
電話 〇七五(四四一)五七六二
FAX 〇七五(四四一)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長	松下日肆
宗務総長	藤井日靖
総務部長	増田隆雄
宗務部長	吉村日彦
財務部長	土畑信教
教務部長	山田岳隆
庶務部長	高邊晶啓

〒602-8418 京都市上京区寺之内通大宮東入大本山妙法蓮寺内
電話 〇七五(四五二)三三二七
FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽 主	田中壮谷
理事長	田中勇一郎
門連常任理事	本間直暉
門連理事	藤本坦孝
門連理事	原田義彦
編集委員(門連だより)	森山真治
編集委員(門連だより)	的場春奈

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一-19-18
電話 〇三(三五六〇)七二二(代)
FAX 〇三(三五六〇)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

京都日蓮聖人門下連合会

会 長	中村日玄
副会長	伊丹日章
理事長	吉永義康
副理事長	藤井照源

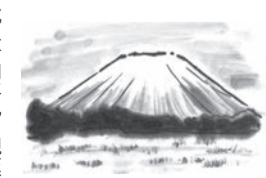
京門連事務局
〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九-1 妙満寺内
電話 〇七五(七九二)七二七一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

日本山妙法寺大僧伽

首 座	吉田行典
責任役員	酒井天信
同	今井行康
同	池田行朗
同	二宮和嘉
同	木津博充
同	川岸行孝

日本山妙法寺大僧伽事務局
〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八-17
電話 〇三(三四六一)九三六三
FAX 〇三(三四六一)九三六七

<p>頭本法華宗総本山 妙満寺</p> <p>〒606 0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一 電話 〇七五(七九二)七二七一 FAX 〇七五(七九二)七二六七</p> <p>貴首 中村日玄 執務 吉永義康 執事 山本晃道 執事 中村英司 執事 湯原正純 執事 小川正義</p>	<p>法華宗(本門流)大本山 鷲山寺</p> <p>〒297 0051 千葉県茂原市鷲東四八 電話 〇四七五(二二二)二九七八 FAX 〇四七五(二二二)三〇三八</p> <p>貴首 平田日範 執事 佐藤正純 役員 一同</p>	<p>日蓮宗大本山 池上本門寺</p> <p>〒146 8576 東京都大田区池上一一―一 電話 〇三(三七五)一三三三一 FAX 〇三(三七五)三三五〇</p> <p>貴首 酒井日慈 執事 野坂法雄 役員 一同</p>	<p>日蓮宗総本山 身延山久遠寺</p> <p>〒409 2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 電話 〇五五六(六二二)一〇一一 FAX 〇五五六(六二二)一〇九四</p> <p>法主 内野日総 総務 井上瑞雄</p>
<p>多寶富士山 日蓮本山 本山要法寺</p> <p>〒606 8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八 電話 〇七五(七七二)三三九〇 FAX 〇七五(七七二)五九一四</p> <p>貴首 嘉儀日有 大学頭 丹治日遠 執事 岩崎広義 執事 原田智光 執事 原光明</p>	<p>本門法華宗大本山 妙蓮寺</p> <p>〒602 8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話 〇七五(四五二)三五二七 FAX 〇七五(四五二)三五九七</p> <p>貴首 松下日肆 執事 音羽隆全 役員 一同</p>	<p>法華宗(真門流)総本山 本隆寺</p> <p>〒602 8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇 電話 〇七五(四四二)五七六二 FAX 〇七五(四四二)五六六六</p> <p>貴主 田仲日紘 執事 足立真正 執事 本多信正 書記 永岡悠希 書記 笹木研吾</p>	<p>法華宗(陣門流)総本山 本成寺</p> <p>〒955 0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇 電話 〇二五六(三三三)〇〇〇八 FAX 〇二五六(三三三)〇〇五九</p> <p>貴首 石原日然 執事 笹原壯玄 執事 平井良光 執事 栗田孝之 執事 荒川公孝 執事 近藤正文 執事 五十嵐義昭</p>
<p>宗祖御降誕靈場 日蓮宗大本山 誕生寺</p> <p>宗祖御降誕八百年に向かつての祈り</p> <p>〒299 5501 千葉県鴨川市小湊一八三 電話 〇四(七〇九五)二六二一 FAX 〇四(七〇九五)二〇五五</p> <p>貴首 石川日命 執事 橋本宏信</p>	<p>日蓮宗大本山 清澄寺</p> <p>日蓮聖人出家得度の霊跡</p> <p>別当 二宮日敬 執事 宮崎雅宣 役員 一同</p> <p>〒299 5505 千葉県鴨川市清澄三二二―一 電話 〇四(七〇九四)〇五二五 FAX 〇四(七〇九四)〇五二七 団参には是非、研修会館をご利用ください。 一六〇名様まで可。</p>	<p>京都八本山会</p> <p>本山本満寺 貴首 伊丹日章 大本山本園寺 貴首 吉田日厚 大本山妙顕寺 貴首 和田日佑 本山立本寺 貴首 上田日瑞 本山妙傳寺 貴首 野々垣日祐 本山頂妙寺 貴首 安藤日瑛 本山妙覚寺 貴首 及川日周 本山本法寺 貴首 瀬川日照</p>	<p>本門佛立宗本山 宥清寺</p> <p>住職 山内日開 二十五世講有 執事 小野山日住 事務局長 伊藤隆之</p> <p>〒602 8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ノ鼻町二〇五―一 電話 〇七五(四六三)四六二〇(代) FAX 〇七五(四六三)四六五一</p>
<p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺</p> <p>〒166 0013 東京都杉並区堀之内三―四八―八 電話 〇三(三三三)六二四一 FAX 〇三(三三三)五〇〇七</p> <p>山主 嶋田日新</p>	<p>日蓮宗大本山 中山法華経寺</p> <p>貴首 新井日湛 財務執事 村尾貞榮 庶務執事 滝本善孝 法務執事 阿部宇善 教務執事 高谷正之</p> <p>〒272 0813 千葉県市川市中山二―一〇―一 電話 〇四七(三三四)三四三三 FAX 〇四七(三三四)一七九六</p>	<p>日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 富士山法華本門寺根源</p> <p>貴首 旭日重 執事 川名義顕 参与 吉田日綱 参与 井野上正文</p> <p>〒418 0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話 〇五四四(五八)一〇〇四 FAX 〇五四四(五九)〇三〇三</p>	<p>日蓮宗霊跡本山 比企谷 妙本寺</p> <p>貴首 早水日秀 執事 立野正泰 山務役員 一同</p> <p>〒248 0007 鎌倉市大町一―一―五―一 電話 〇四六七(二二二)〇七七七 FAX 〇四六七(二二五)六九六七</p>
<p>平成三十三年二月十六日は 宗祖御降誕八百年を 迎えます</p> <p>〒110 0001 東京都台東区谷中四―二―一五 電話 〇三(三八二)四三七三 FAX 〇三(三八二)七〇三三</p> <p>貴首 井上日修</p> <p>除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安</p> <p>徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 瑞輪寺</p>	<p>日蓮門下お題目初唱の霊場 日蓮宗本山東身延 藻原寺</p> <p>貴首 持田日勇 総務 増田寶泉 執事 富永一道 " 中川貫泰</p> <p>〒297 0026 千葉県茂原市茂原一―二〇―一 電話 〇四七五(二二二)三二五三 FAX 〇四七五(二二二)一一七三</p>	<p>日蓮宗本山 頂妙寺</p> <p>貴首 安藤日瑛 参与 伊東隆司 同 宇根海静 同 新林昭源 執事 藤井照孝 執事 川合陽雄</p> <p>〒606 8376 京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六 電話 〇七五(七七二)〇五六二 FAX 〇七五(七五二)一〇〇四</p>	



平成二十四年九月現在

祖廟参詣及び身延理事会開催さる



日蓮聖人門下連合会 身延理事会 平成24年6月13日

平成二十四年六月十三日(水)、日蓮宗総本山身延山久遠寺内祖廟において、全国日蓮聖人門下連合会顧問・常任理事・理事・監査・大阪門下懇話会理事長等、二十八名が参拝し法味を言上。続き、報恩閣に身延理事会が開催された。

午後一時半、渡邊照敏理事長が座長となり議事を進行。「平成二十三年度事業報告」「平成二十三年度決算報告」を事務局より報告。決算報告では持田日勇師より監査会で精査されたことが告げられ一同承認。次に、「平成二十四年度事業計画案」「平成二十四年度予算案」を事務局より報告、一同承認。

続き、「京都門下連合会活動報告」を藤井照源師、「地方門連活動に関する報告」を東孝信師より報告された。

「その他」の事項では、持田日勇監査より、日蓮宗本山藻原寺で開催が予定されている「オラトリオ日蓮」の進捗状況が報告される中、全国の各派教団へ協力が求められた。午後三時閉会。

会場を下部ホテルに移し、午後五時半より各派教団による懇親会が開催された。

京都日蓮聖人門下連合会四大事業開催



◆降誕会
二月十六日、日蓮大聖人七百九十一回御降誕会が顕本法華宗大本山妙満寺で奉行され、門下本山会貫首以下、僧侶、檀信徒約百名が参列した。法要に先立ち総会が開催され事業報告、会計報告、役員改選等承認された。

た。降誕会法要は、中村日玄貫首導師、古瀬久馨(京門連理事長)・藤井照源(京門連副理事長)・副導師のもと進められ、日蓮大聖人御降誕に御報恩の誠を捧げた。法要後、京門連副会長、日蓮宗本山本満寺貫首伊丹日章親下による「日蓮聖人の御生涯」と題し講話があり、日蓮大聖人の御降誕の意義を学んだ。

◆立教開宗会

四月二十八日、第七百六十回立教開宗会が日蓮大聖人近畿御遊学十二年比叡山横川定光院で開催され、門下本山会貫首親下、僧侶、檀信徒約百二十人が参加した。法要に先立ち、日蓮宗京都府第一部布教師会事務局長三木天道師が「東日本大震災と立正安国論」と題して講話。法要は、大導師に京門連副会長本満寺貫首伊丹日章親下、副導師に京門連理事長古瀬久馨師、京門連副理事長藤井照源師を屈請、京都雅楽会が出仕して営まれた。参列者一同、建長五年の清澄寺旭が森に思いを馳せ、そこに

迎り着くまでの定光院での日蓮大聖人の苦勞を偲んだ。法要後は、大原三千院を見学、一同親睦を深めた。

◆夏季大学

八月二十五日、京都日蓮聖人門下連合会主催の第四十八回夏季大学が本能寺文化会館で開催され、門下本山会貫首親下、僧侶、檀信徒約二百名が参加し、聴聞した。日蓮聖人の誠心を永遠に語り継ぐ——今、生きるよるこび、生かされるよるこび——のテーマのもと、三講師のお話を聞き、学んだ。

顕本法華宗本山妙満寺貫首中村日玄親下は「お題目の信仰と共に——私の歩んだ僧侶の道——」と題し講演。顕本法華宗布教総監・元東洋大学文学部教授河村孝照師は「私が学んだ仏様の教え」続いて仏教大学文学部教授・「船団の会」代表・俳人である坪内検典先生は「言葉の力——松永貞徳など——」と題し講演された。

尚、十月六日(土)に総本山妙満寺に於て御会式を奉行する。
(藤井照源)

日蓮門下必須の文献 図説『日蓮聖人と法華の至宝』全七巻



平成十五年に東京国立博物館で、平成二十一年に京都国立博物館、神奈川県立歴史博物館で日蓮聖人の門徒諸宗の名宝が一堂に展覧され、多くの人々に偉観と感動を与えました。『日蓮聖人と法華の至宝』はそれらの至宝に、新発見の新たな名宝を加え、日蓮聖人の真蹟をはじめとする典籍・古文書、法華信仰の焦点に位置する仏像・仏画、信仰の場を整える仏具など、伝来する『日蓮聖人と法華の至宝』を集大成し、法華

信仰・文化の全貌を描くものです。今後二度と完成させることができない完全版となつていきます。

全体の構成は第一巻(南の巻)「曼荼羅本尊」・第二巻(無の巻)「日蓮聖人の真蹟遺文」・第三巻(妙の巻)「典籍と古文書」・第四巻(法の巻)「彫刻」・第五巻(蓮の巻)「絵画」・第六巻(華の巻)「仏具と荘厳」・第七巻(経の巻)「日蓮聖人註画讀」からなります。編集にあたっては日蓮聖人の教義と法華信仰のあゆみに広く思いを致し、まずその信仰と精神を論稿で明らかにし、これまでの豊かな資料及び新発見の資料とあわせて、平易な解説でその現状と意味を明らかにしました。これによって日蓮聖人以来約七五〇年にわたる法華信仰の姿を仏教文化の総体のなかで明確に意味づけし描き出しました。

『日蓮聖人と法華の至宝』の主な特徴

- 宗門の全面協力により実現した全集
- 曼荼羅本尊、彫刻、遺文、文書、絵画、荘厳具、註画讀など国宝、重要文化財等の宝財をカラー写真で完全収録。
- 見るだけでも楽しく、読んでよくわかるカラー図説。基本要目から所見・伝承などの細部まで、くわしい解説。
- 荘嚴の仕方など日々の実用書としても役立つ情報を満載。
- いざと言うとき便利に役立つ寺宝として、僧侶、檀信徒の方々必備の全集。

- 監修/川添昭二(九州大学名誉教授、坂輪宣敬(立正大学名誉教授、中尾堯(立正大学名誉教授)、渡辺宝陽(立正大学名誉教授)
- ◆編集代表/中尾堯
- ◆全七巻セット価格
- 一四万円(税込) 一巻当り二万円
- 各巻一八四頁予定(四色一三六頁・一色四八頁) サイズ二二・四×二九・七cm

お申込は日蓮宗新聞社まで
電話 03-3755-5271
FAX 03-3753-7028

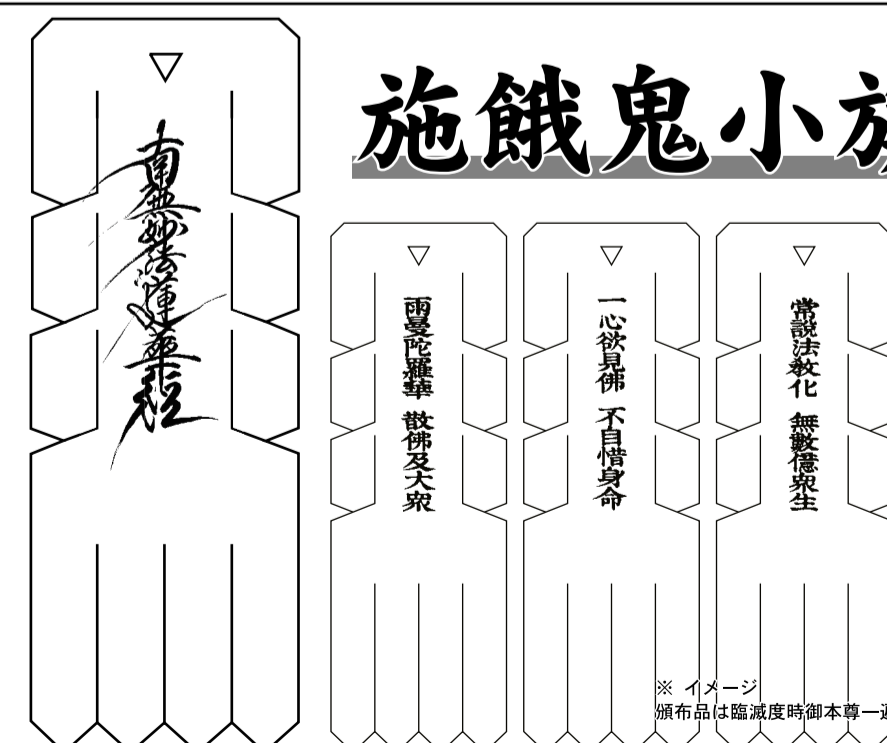
年月日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
平成二四・二・一三	門谷光瑞	法華宗陣門流	理事	就任	退任
平成二四・三・三	牧野秀成	法華宗真門流	顧問	就任	退任
平成二四・三・六	田中日生	法華宗	常任理事	就任	退任
平成二四・三・六	田仲日紘	法華宗	理事	就任	退任
平成二四・三・六	藤崎広学	法華宗	理事	就任	退任
平成二四・三・六	朝倉俊幸	法華宗	理事	就任	退任
平成二四・三・六	朝倉俊幸	法華宗	理事	就任	退任
平成二四・三・六	藤崎行学	法華宗	理事	就任	退任
平成二四・四・一	古瀬久馨	法華宗	理事	就任	退任
平成二四・四・一	吉永義康	法華宗	理事	就任	退任
平成二四・四・一	中村日遊	法華宗	理事	就任	退任
平成二四・四・一	東孝信	法華宗	理事	就任	退任
平成二四・五・一三	菅原日桑	法華宗	理事	就任	退任
平成二四・五・一三	小西日遠	法華宗	理事	就任	退任
平成二四・七・二	小山日誠	法華宗	理事	就任	退任
平成二四・七・二	山内日開	法華宗	理事	就任	退任

▼人事(事務局への連絡日を含む)

施餓鬼小旗セット

頒布価格 **7,875 円**
(税込・送料別)

施餓鬼小旗 (約縦 202 mm × 横 67 mm)
経文入各色(緑・白・赤・青・黄) × 20 枚、
臨滅度時御本尊一遍首題入(白のみ) × 10 枚、
経文無各色 × 20 枚(白のみ 10 枚)
合計 200 枚・箱入
竹串 (約 24 cm) 100 本



お申し込みは **日蓮宗新聞社** TEL 03-3755-5271
〒146-0082 東京都大田区池上 7-23-3 FAX 03-3753-7028

各派・教団・短信

日蓮宗

◆「千鳥が淵戦没者追善供養並びに世界立正平和祈願法要」が八月十五日、千鳥が淵戦没者墓苑で渡邊照敏宗務総長を導師に営まれ、東京四管区の僧侶が出陣し、僧侶檀信徒が参列した。

◆日蓮宗ハワイ開教一〇周年とホノルル市にある日蓮宗別院(今井真行主任)の創立一〇〇周年の記念として七月一日、内野日経管長親下を導師に宗門法要が盛大に営まれた。法要には現地のメンバーや日本からの僧侶檀信徒三百人が参列した。

◆三月十一日、東日本大震災一周忌追悼慰霊法要を宗内被災寺院である北茨城市・成願寺にて菅原日桑管長親下を大導師に、他三本山貫首親下、総長台下御臨席のものと奉修。

◆四月十一日、千鳥が淵戦没者墓苑において太平洋戦争戦没者慰霊法要が行われた。満開の桜となった千鳥が淵に戦没者の慰霊と平和の祈りのためのお題目が響き渡った。

◆五月十三日、大本山本興寺貫首小西日遠親下が、第百三十二代法華宗管長に就任された。

◆第六十六次定期宗会が五月二十二日二十四日に亘り、宗務院において開催。十六議案を審議し承認。また東日本大震災からの原発事故をうけ、原子力発電に頼らない社会の実現を目指す内容の声明文を採用。

◆全国宗務所長が五月三十日、三十一日の両日、宗務院において開催。

本年度は宗務所長の改選期にあたり、全国十三教区で選挙が行われ、新たに九名の所長(再選四人)が誕生し、宗門興隆、地方宗務行政の円滑化について意見交換。

◆僧侶の資質向上、興学・布教の活性化を目指す教学講習会の本年度日程は、九州教学講習会(七月十七日十九日)、北海道教学講習会(八月二十二日二十四日)、京都教学講習会(九月十一日十二日)、北陸教学講習会(九月二十六日二十八日)、千葉教学講習会(十月三日五日)、中国教学講習会(十一月六日八日)。お問い合わせは、宗務院(0356143055)まで。

◆九月四日、教学研究所設立五十年を記念し、小西日遠管長親下を大導師に、他三大本山貫首親下、総長台下御臨席のものと大本山本興寺にて先師先哲の遺徳顕彰報恩法要を奉修。

◆十一月十一日、日経上人終焉の霊蹟・富山市音川教会において、「常楽院日経上人報恩の会」(会長・山本宗人師)主催による日経上人報恩法要が奉修された。法要後、総会が開催された。

◆十一月二十二日、千葉県大網白里町芳壇寺において、東部教区連合会主催の先師報恩法要及び講習会が開催された。法要後、中央セレモニ―社長・大杉実氏を講師に「直葬の後悔」と題する講演が行われた。

◆一月二十日より二月二日まで、千葉県内八ヶ寺を巡拝する寒中修行が地元有志によって行われた。

◆二月七日・八日の両日、浜松市内において、妙塔学林特別講師の河村孝昭師を講師に「俱舍論」についての講義が行われた。

◆三月五日・六日の両日、総本山妙満寺において、第六十七次定期宗会が開催された。平成二十三年宗務事業報告及び決算、平成二十四年度事業計画及び予算案が承認された。また、任期満了により藤崎広学宗務総長が退任、後任に朝倉俊幸宗務総長が就任し、新内局が発足した。新内局の顔ぶれは

左記の通り。
新内局人事：管長中村日支親下・朝倉俊幸宗務総長・藤崎学宗務次長・早川義正教務部長・阿曾久成庶務部長・桑村信慶布教部長・河野時巧財務部長・飯澤道安社会部長。
◆四月十日、千葉市本行寺において、東部教区連合会による先師報恩法要奉修された。法要後、定期総会が開催された。
◆五月十二日・十三日の両日、総本山妙満寺において、春季報恩大法要を厳修、併せて東日本大震災一周忌追悼法要と靈宝「安珍清姫の鐘」鐘供養を奉修した。

◆六月十一日・十二日の両日、寛文法難先師顕彰奉拝が行われ、宮崎県日南市にある顕彰碑前において報恩法要が奉修された。
◆七月二十四日・二十七日の三泊四日にわたり、総本山妙満寺を会場に「第四十八回・顕本青少年錬成会」が開催された。
◆九月五日、千葉市五日堂において、東部教区連合会主催の先師報恩法要並びに講習会が開催された。講習会では、勝桂子氏を講師に「一人称の救済からの脱却」と題する講演が行われた。(橋無限)

◆一月二十四日、第百十八次法華宗臨時宗会が東京東鴨、法華宗宗務院で開催され、佐古弘文宗務総長が再任された。
◆二月三日、総本山本成寺(新潟県三条市)で「節分会鬼踊り追儺式」が、本成寺貫首・石丸九日然親下導師により厳修された。
◆三月二十六日・二十七日の二日間、第百十九次法華宗定時宗会が宗務院で開催された。
◆三月二十八日、「本迹同異決」会本刊行委員会が宗務院で開催された。
◆五月二日、宗務所長会が宗務院で開催された。

◆五月十二日、霊跡別院蓮着寺(静岡県伊東市)で「伊豆御法難會」が中野日仁山導師により厳修された。
◆五月十三日から六月二十一日までの四十日間、「法華宗学林」が総本山本成寺で開講され、今年も全国より寺院徒弟が集まった。学林生達は毎日教学研究・練經・浄行等に励み、行学二道に精進した。

◆五月十四日、布教研究所委員会が宗務院で開催された。
◆五月二十五・二十七日の三日間、総本山本成寺で「祠堂法要」が日然親下導師により厳修され、全国より多くの檀信徒が参列した。
◆六月十二日、会計監査会が宗務院で開催された。
◆六月二十五日、「本迹同異決」会本刊行委員会が宗務院で開催された。
◆七月一日、雅楽練習会が宗務院で開催された。

◆七月二十七日、宗法審議委員会が宗務院で開催された。(田邊尚志)
◆二月十七日、総本山本隆寺に於いて貫主推薦会開催。次期貫主に奈良・八紘寺 田仲良啓上人。
◆三月二十六日・二十八日、総本山本隆寺に於いて、「第二十九回僧風林」開催。
◆四月七日・二十六日、総本山本隆寺に於いて、春季学林開講。
◆四月十一日・十三日、総本山本隆寺に於いて、春季大法会厳修。
◆四月二十五日・二十九日、福井・本承寺に於いて、第十二期布教師養成所開所。
◆五月二十日・二十二日、第一教区では「第三十二回檀信徒の集い」開催。
◆五月二十四日・二十五日、第三教区では「教区教学研修会」開催。宗学研究所所員 吉田公明師の講演「日真大和尚伝の検討」御開山日真大和尚 久代御布教並びに久成寺開創について。
◆五月三十日・三十一日、福井・常眼寺に於いて、青年僧の交流会として各教区青年会対抗のソフトボール大会開催。
◆六月七日、総本山本隆寺に於いて真門教学講習会開催。午前は、真門学林長 岩崎峻暉師の講演「唯寿量と本果実証についての一考察」。午後は、法華宗陣門流教学部長 布施義高上人の講演「日蓮聖人の本門思想と天台本覚思想」。

◆三月十一日、宗会が大本山妙満寺卯木講堂において開催。
◆三月二十六日・二十七日、本門法華宗宗務院第百四十回教学講習会が大本山妙満寺卯木講堂において開講。
◆六月十八日、任期満了による宗

務総長選出臨時宗会が卯木講堂において開催され、藤井日靖総長ならびに内局部長もそれぞれ再任。
◆七月一日、布教誌「生きる」第五十八号、信報「信行」第百七十七号を発行。
◆平成二十五年五月十一日・十二日 大本山妙満寺に於いて、大覚大僧正第六十遠忌・日隆大聖人第五十遠忌大法要を奉修する。(吉村光敏)

国柱会

◆一月一日、元旦大国禱。新年拝賀式。神酒拝齋式。賽主先生以下中央有志明治神宮参拝。七日、昭和天皇祭。武蔵野御陵へ若杉日出雄講師以下中央有志参拝。十四日、故大橋富士子大姉靈位一周忌追善法要正中併修。大橋富士子先生を偲ぶ会開催。十四日・十五日、妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕。十五日、妙宗大靈廟例月供養会。中央同志新年大会。十七日、恩師忌。常勤給仕日。二十一日、賽主先生、東日本大震災被災地応援ボランティア活動へ、二十五日迄。
◆二月十一日、紀元節慶讃法要。十五日、釈尊涅槃會慶讃法要。式後、御聖日集會開催。担当、賽主先生。十六日、聖祖降誕會慶讃法要。式後、御聖日集會開催。担当、森山真治講師補。十七日、恩師忌。常勤給仕日。十八日・十九日、各局輪番常勤給仕。十九日、妙宗大靈廟例月供養会。二十二日、賽主先生、インド靈鷲山他仏蹟参拝にご出発(三月一日迄)。随分、松下陽一講師補。「明治の日」実行委員会(衆議院第二議員会館)に森山講師補出席。
◆三月三日・五日、賽主先生、松下講師補、国柱会仙台局同志訪問。東日本大震災「復興祈念の集い」に於いて、仙台市民会館ホールに参加。(四日)。六日、「明治の日」実現推進集会受到主先生、森山講師補参加、於、参議院議員会館。十一日、東日本大震災殉難之諸靈位一周忌追善別時法要厳修。十七日、恩師忌。常勤給仕日。十九日・二十日、妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕。二十日、妙宗大靈廟春季彼岸大供養会(第二十六回例月供養会)厳修。二十八日・三十日、賽主先生、松下講師補、東日本大震災復興ボランティア活動の為宮城県へ。

◆四月一日、月旦大国禱。申孝園桜まつり開催。八日、釈尊降誕會慶讃法要。御聖日集會・担当、松本充子講師補。十四日・十五日、妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕。十五日、妙宗大靈廟例月供養会。十七日、恩師忌。本部常勤給仕。二十八日、第八十二回身延登詣団(二十九日まで)開催。団長、賽主先生。式長にて立正会慶讃法要(大祖廟前)。秋場暁雄講師式長にて本部立正会慶讃法要。御聖日集會。二十九日、身延山恩親閣前にて山頂慶讃式典挙行。(森山真治)

京門連

◆平成二十四年度。会長 顕本法華宗総本山妙満寺貫首 中村日支親下。副会長 日蓮宗本山本満寺貫首 伊丹日章親下。理事長 顕本法華宗総本山妙満寺総務 古瀬久馨師。副理事長 日蓮宗京都府第一宗務所長 藤井照源師。
◆一月二十五日(水)午後五時 理事会(本能寺文化会館)。平成二十四年度役員確認の件、平成二十三年度会務行事の件、平成二十三年度決算の件、平成二十四年度会務行事案の件、平成二十四年度予算案の件、平成二十四年度総会の件、平成二十四年度降誕会の件。
◆二月十六日(木)午後一時 京門連総会(顕本法華宗総本山妙満寺)。平成二十四年度役員確認の件、平成二十三年度会務行事の件、平成二十三年度決算の件、平成二十四年度会務行事案の件、平成二十四年度予算案の件、平成二十四年度降誕会の件。

◆四月一日(金)午後三時 学生会(本能寺文化会館)。お会式の件。
◆十月五日(金)午後三時 学生会(顕本法華宗本山妙満寺)。学生会準備奉行委員会(顕本法華宗本山妙満寺)。お会式準備、行脚、法要等打ち合わせ。
◆十月六日(土)午後一時 お会式(顕本法華宗総本山妙満寺)。導師 顕本法華宗総本山妙満寺貫首 中村日支親下。講師 日蓮宗本山貫首。
◆十一月二十六日(月)全門連京都理事會(顕本法華宗総本山妙満寺)。日蓮聖人門下連合会京都理事會、懇親会別席。
◆十二月 会計監査(本能寺文化会館)。
◆同日午後五時 理事会(本能寺文化会館)。平成二十四年度会務行事報告、平成二十四年度決算中間報告。(藤井照源)

日蓮聖人門下連合会

- 目的
本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡協力、団結を強化することを目的とする。
- 事業
本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。
- 1、祖廟護持の組織強化
 - 2、教育事業の提携
 - 3、布教の連合強化
 - 4、懇談会・研究会・講演会等の開催
 - 5、各種出版物の刊行
 - 6、海外布教の提携及び交流
 - 7、対外的な各種の運動
 - 8、その他
- 加盟団体
- 日蓮宗 法華宗本門流
 顕本法華宗 法華宗陣門流
 本門佛立宗 日蓮本宗
 法華宗真門流 本門法華宗
 国柱会 日本山妙満寺
 京都門下連合会